

人事・労務政策委員会「第4回定例委員会」議事録

1. 日 時 2024年2月27日(火) 14時00分～17時00分
2. 場 所 富山県経営者協会 研修室
3. 出席者 第1部：人材確保に向けた情報交換会 16名
第2部：定例委員会 八十島委員長以下 18名 (事務局) 竹内、小森

4. 内 容

第1部 人材確保に向けた情報交換会（採用・定着・成長）（14：00～16：00）

I 講演会

テーマ：「多様な人材が活躍できる職場づくり」～コミュニケーションの役割～

講 師：社労士モリマユミオフィス 特定社会保険労務士 森 真弓 氏

II グループワーク

講演会中に行った個人ワークに基づき、グループワーク、情報共有を実施。

- ・ 社内では、誰がどのような状態であることがウェルビーイングだと思いますか？
- ・ 社員のウェルビーイングを踏まえて、どのようなことに気をつけて面接・面談を行なったら良いと思いますか？

第2部 定例委員会（16：10～17：00）

I. 委員長挨拶

皆さまには、今年度最後となります第4回人事・労務政策委員会にご参集頂き、ありがとうございます。改めてお礼申し上げます。

今回は「2023 年度事業活動中間報告及び今後の予定」と「2024 年度事業活動計画(案)」が主な議題となります。よろしくお願いします。

さて、今年1月1日の「令和6年能登半島地震」により、亡くなられた方、また被害に遭われた方に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。富山県は昔から地震の少ないところであり、何かあれば立山が守ってくれるなどと、地震に対するリスクに対して甘いところがありましたが、今回の件で、個人を含め、企業も改めて災害に対する事前対策の重要性について考えさせられたと思います。また、富山県の住宅耐震化率は島根県に続いて、ワースト2位であるということも初めて知ったという状況です。

さて、前回の定例委員会で申しましたが、日本は社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、賃上げを上回る物価高や地球温暖化による大規模災害の発生、更には日本が抱える少子高齢化と人口減少の問題など、課題が山積しております。また、富山県は1年後には人口100万人を切ると言われております。

こうした先が読めないVUCAの時代の中で、日本は「失われた30年間」が40年、50年となるか、それとも反転して持続的発展に繋げていけるかの分水嶺にあるのではないかと私は思いますと申し上げました。

さらに、潜在成長率が上昇するためには、「全要素生産性」の話から持続的な企業価値の向上に向けて、経営戦略と人材戦略の連動が不可欠であると前回の定例委員会で申し上げました。

今日は、経団連が唱えております『2024年版 経労委報告』の「はじめに」に書かれていることをご紹介します。挨拶に代えさせていただきます。

<『2024年版 経営労働政策特別委員会報告 概要』の「はじめに」を読み上げ>

現実的には、サプライチェーン全体での対応が必要であり、個々の企業だけの話ではない訳です。そういうこともあり、個別での決定にはなかなか難しい面がありますが、皆さまが抱えている春季労使交渉におきましては、経営者方ともきちっと話しされて、人材の確保を含め、人的資本経営の観点から、労使交渉が最大限の結果となるよう、検討をお願いしたいと思います。

この「はじめに」に書かれている考え方に対応できない企業は、長い目で見れば、淘汰されていくものと思っております。以上でございます。

II. 議 事

1. 2023年度事業活動報告及び今後の予定・・・資料1・2

①人事・労務政策委員会の副委員長、幹事、委員の交代（12月定例委員会後）（資料1）

12月	【退会】堀井 徹氏	アルビス株式会社	人事総務部課長
	【交代】舟見 恵一氏	株式会社ウーケ	管理部長兼品質保証部長
	(前任：松本 篤氏	同社	管理部長)

②2023年度事業活動報告及び今後の予定（資料1、2）

事務局より、資料1の「定例委員会の実施状況および予定」について報告後、資料2の「2023年度事業活動報告及び今後の予定」に基づき、12月の定例委員会以降に開催した講座および部会等の実施状況等について報告。

2. 2024年度事業活動計画(案)・・・資料3

事務局より、資料3の「2024年度事業活動計画(案)」に基づき、12月の定例委員会以降に確定した実施内容を含め、次年度の事業活動計画(案)について報告。

正式には、4月の幹事会および6月の定例委員会で審議する予定。

委員長から「本日、報告致しました計画(案)に基づき、2024年度の事業活動を進めさせていただく。」と締めくくられ、議事を終了した。

その後、委員長から「本年3月31日をもって、委員長を退任する」こと、新しい委員長には、伏木海陸運送(株) 代表取締役社長 大門 督幸 様が就任予定であることをご報告されました。

退任にあたり、以下のとおりご挨拶されました。(要旨記載)

私が前任の委員長から引き継いだのは、2018年6月からであり、約6年間務めさせていただきました。これも委員の皆さま、事務局の方々のご協力によるものであり、感謝申し上げます。

この間は、働き方改革法案やそれに関連する、新しい人事諸制度に変化していくことについての話題で持ちきりであったかと思います。

今後の日本の企業の方向性を考えますと、人事労務部門は、経営企画部門と対等となるぐらい、大変重要な位置づけになるということを再認識して頂き、この委員会での事業活動を参考に、各会社でのご活躍をお祈りしたいと思っております。

6年間、どうもありがとうございました。

3. 情報提供

富山県人材活躍推進センター プロフェッショナル人材戦略本部より、下記の情報提供があった。

内 容：「その悩み副業人材で解決できます」 ～「外部人材」の採用で、中小企業が変わる!～

説明者：富山県人材活躍推進センター プロフェッショナル人材戦略本部 本部長 久金 正彦 様
同 コーディネーター 広瀬 淳 様

以 上